



平成26年3月6日
羽田税関支署

羽田税関支署 3年目に覚醒剤の摘発急増

～羽田空港国際化後3年間における不正薬物密輸事犯の摘発状況等について～

◎不正薬物の押収量は約49kg、摘発件数は19件

◎覚醒剤の押収量は約46.8kg、摘発件数は15件

【トピックス】

◎国際化後3年目に至り、覚醒剤の押収量が急増

・平成25年の覚醒剤押収量は46.8kgとなり、昨年と比較して約3.2倍となった。

◎覚醒剤密輸事犯の大口化

・1件あたりの平均押収量は約3.1kg、昨年の約1.3倍（昨年約2.4kg）

◎インド、中国などアジア来の覚醒剤摘発が急増

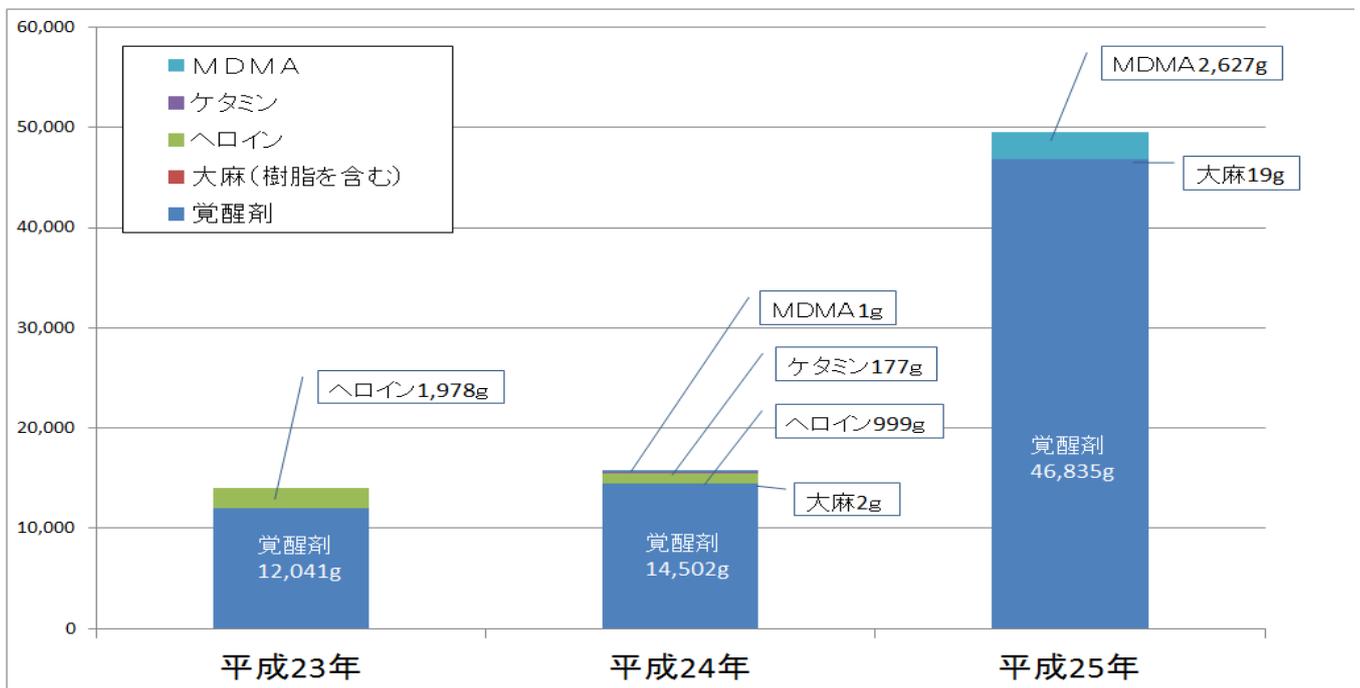
・インド、中国、香港などアジア来が12件と急増し、全体の80%を占めた（昨年1件）。

◎米国人等、高齢外国人の覚醒剤密輸事犯が続発

・外国人による覚醒剤密輸事犯のうち、50歳以上が約77%を占めた。

不正薬物摘発状況

押収量(g)



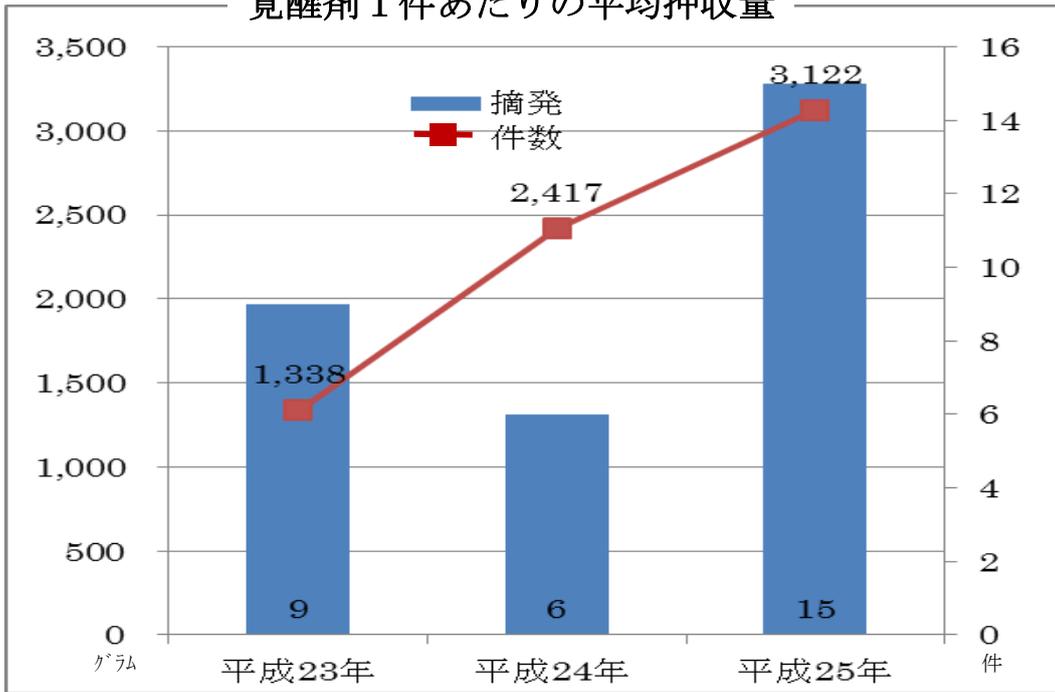
羽田税関支署における不正薬物摘発状況

種類	年別	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年		合計
					前年比	
覚醒剤	件数	9	6	15	250.0%	30
	数量(g)	12,041	14,502	46,835	323.0%	73,378
大麻	件数	1	1	3	300.0%	5
	数量(g)	0	2	19	950.0%	21
(大麻草)	件数	1		3	全増	4
	数量(g)	0		19	全増	19
(大麻樹脂)	件数		1		0.0%	1
	数量(g)		2		0.0%	2
ヘロイン	件数	2	1		0.0%	3
	数量(g)	1,978	999		0.0%	2,977
ケタミン	件数		2		0.0%	2
	数量(g)		177		0.0%	177
MDMA	件数		2	1	50.0%	3
	数量(g)		1	2,627	262700.0%	2,628
	数量(錠)		50		0.0%	50
合計	件数	12	12	19	158.3%	43
	数量(g)	14,019	15,681	49,481	315.5%	79,181
	数量(錠)		50		0.0%	50

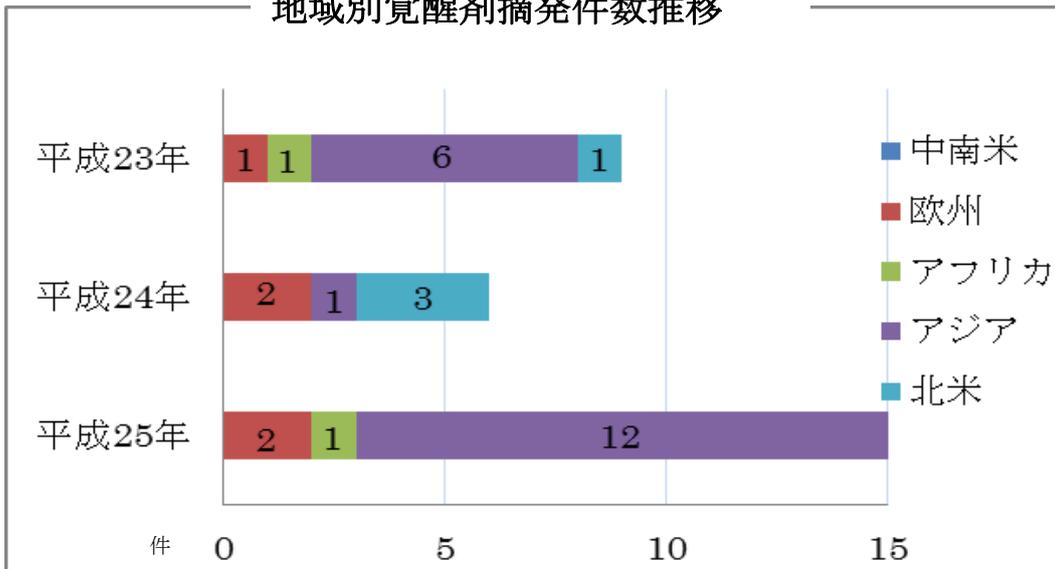
注) 1. 数字は摘発ベース

2. 薬物の数量表記について、「0」とは0.5gまたは0.5錠未満の場合を示し、小数点以下を端数処理している為、比率や合計値が合わないことがある。

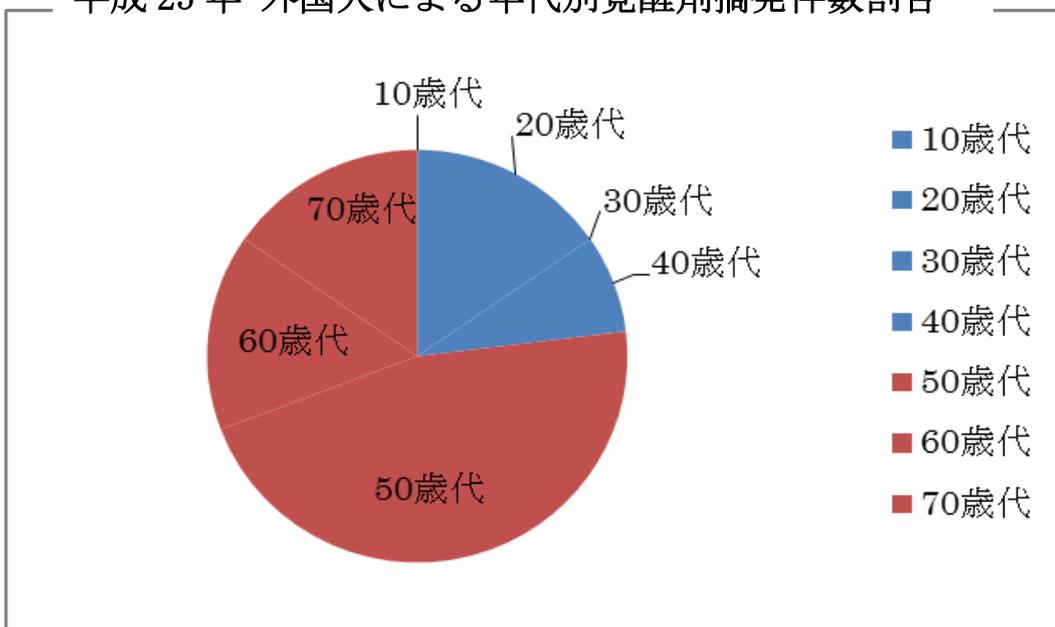
覚醒剤 1 件あたりの平均押収量



地域別覚醒剤摘発件数推移



平成 25 年 外国人による年代別覚醒剤摘発件数割合



平成25年の羽田空港における 主な不正薬物摘発事例

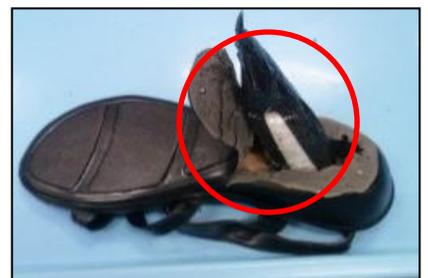
【事例1】ソフトキャリーケースの型枠に隠匿された覚醒剤を摘発

平成25年3月、ドイツから入国したスウェーデン人男性が携行していたソフトキャリーケースの型枠内に隠匿されていた「覚醒剤約1.4キロ」を発見、摘発した。



【事例2】サンダル内等に隠匿された覚醒剤を摘発

平成25年9月、インドからシンガポール経由で入国したシンガポール人男性が携帯していたサンダル内等に隠匿されていた「覚醒剤約9キロ」を発見、摘発した。



【事例3】オルゴールの台座及びチョコレート菓子内に隠匿された覚醒剤を摘発

平成25年10月、香港から帰国した日本人男性が携帯していたオルゴールの台座及びチョコレート菓子内に隠匿されていた「覚醒剤約1.5キロ」を発見、摘発した。

